

2020年度 メリー★ポピンズ 志木駅前ルーム 事業報告書

(保育所における自己評価)

1 2020年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

保育園、地域、保護者が相互に関わりながら協同し、地域に根差した保育園を目指して来たが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、地域交流において関わりが十分、もてなかった。

しかし、コロナ禍においても地域資源を活用しながら「どろんこ会の子育てで身に着く6つの力」を実践してきた。保護者参加行事においては参加人数など規制がある中で、子どもたちの様子をわかりやすく伝えるためにエピソード記録、映像、ポートフォリオを掲示、公開する機会を多く設けた。

職員においては、ポートフォリオの作成が日常化することで、保育の質が高まったので、次年度も引き続き行っていく。子どもたちは、年長児を中心に主体的に活動する姿も育ち、挑戦する気持ちやあきらめないでやりきる力が養われた。コロナ禍ではあったが、感染防止対策を行いながら、戸外での活動を中止することなく、下期において長距離を歩き切る心と体の成長につなげた。

基本保育に以外に以下の力を養うために意識した活動として

【どろんこ会が育てる6つの力】

- ① けがをしない強い体を育てる → 食育活動、マラソン大会、発達を促すための戸外活動
- ② 自分でできることを自分でする → 当番活動、自由な表現できる環境設定
- ③ 全ての人との関りから判断、行動を身につける → 異年齢での子どもたちの選択保育
- ④ 活動を選択し、自分で考えて行動する → 畑仕事、お弁当作り、保存食クッキング、焼き芋体験
- ⑤ 生死を知る。食の循環 → 畑仕事、ザリガニ釣り、飼育動物の名付け、食材の変化
- ⑥ 感じたこと、考えたことを表現する → 作品展、生活発表会、表現活動

振り返り

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

「保育の質を高める会議」の学びを共有し、全職員がエピソード記録、ポートフォリオの作成に関わったことで、保育の課題点や子どもの姿を共有する機会が増した。また、制限のある環境の中で必要な体験をどのように展開していけるかを考え、子どもたちの発達、成長につなげた。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

タイムラインの内容、お迎え対応を工夫することで、園の様子をわかりやすく伝えた。個人面談の提案を園からすることにより、面談希望を申し出しやすくなった。家庭の状況を理解し家庭ごとに必要な支援を行うことで保護者も子どもも安心して毎日を過ごすことができた。お迎え対応においては全職員が子どもの様子を伝えられるよう一日の様子を共有することを意識した。

〈3〉 地域の子育て支援事業

コロナ禍において「ちきんえっぐ」の開催は実施できなかったが、青空保育において、地域の方々との交流の機会を大切にしたい。テラスでの給食や水遊び、ボディペインティング、食育活動や戸外活動など地域

の方々が、日々の保育に関わる機会を通して興味をもっていただくことで園見学が大幅に増えた。次年度に向け、子育て支援の機会を計画的に行い地域の方々も保育園との共育を充実していく。今年度、地域子育てスキル講座（わらべ歌と絵本の読み聞かせ）の開催は1回。次年度は寺親屋の開催において複数回実施していく。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

職員の育児休暇に伴い職員の変更が重なったが、業務の役割の引き継ぎを重視し、切れ目のない保育ができた。リーダーとしての役割を明確にして、職員が主体的に提案、実行できる職員育成につながった。毎月の園内研修では職員間で話し合い、園の課題から解決に向けた取り組みを提案し職員自身が行っていく意識付けを行った。スキル講座の参加率も上がり、学びが即、保育に活かせる機会となった。

〈5〉 子どもが主体的に遊びこめる環境を作り、大きなお家で異年齢で過ごしなが、協力し学び合えるよう声をかけすぎない保育

室内環境において定期的に見直すことはできなかったが、子どもたちが自由な場所で自ら遊びを展開していく姿が多くみられるようになった。押入れを使った隠れ家では、子どもたちが見立て遊びや、クールダウンの場所として自ら選んでいる姿があった。下期になると年長児を中心に遊びを提案したり、時計の数字をみて「そろそろ〇〇しよう」の声が上がったりするようになり、生活の流れを子どもたちが作るようになった。

〈6〉 基本保育をもとにどろんこ会の6つの力を育てる

基本保育が定着し、9時には園を出発し一日の生活が始まっている。戸外活動を十分にとることで様々な「どろんこ会の子育てで身に着く6つの力」につながることができた。乳児はハイハイや坂登ができる環境を選び、一人歩きを楽しめるようなコースを選び、育てたい力にあった戸外活動を提案した。戸外での体験が6つの力を育てる環境の中心となった。

2 児童利用状況

月極利用児童受託状況

※定期利用契約児童は二段に分け下段に記載

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半：4~9月	3人	6人	6人	6人	6人	4人	31人
年度後半：10~3月	3人	6人	6人	6人	6人	6人	31人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総人数	32人	0人	24人	63人	70人	76人	102人	105人	94人	81人	93人	90人	830人
うち0歳児	0人	0人	0人	0人	0人	1人	3人	1人	0人	0人	0人	0人	5人

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち0歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(解説) 実施なし

3 保育園開所時間

月～土曜日 7時00分～20時00分

4 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	7人	保育士	7人	看護師	-人	栄養士	1人	調理員等	-人
パート職員	5人	保育士	3人	補助	1人	事務	1人	調理	-人
再雇用職員	-人	用務	-人						
嘱託職員	-人	嘱託医	2人	言語聴覚士	-人	臨床心理士	-人		

職員在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	12人	12人	12人	12人	12人	12人	13人	13人	14人	13人	13人	13人	150人
うち施設長	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	12人
うち保育士正規	6人	6人	6人	6人	6人	6人	7人	7人	7人	7人	6人	6人	76人
うち保育士パート	3人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	4人	4人	4人	4人	38人
うち調理員	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
うち事務	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	12人
うち産休育休	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	2人

5 運営報告

<1> -1 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園会議	20日 8名	7日 12名	19日 12名	17日 10名	21日 9名	18日 7名	16日 8名	12日 8名	18日 7名	14日 7名	19日 9名	7日 11名
給食運営会議	24日 5名	28日 5名	19日 5名	30日 5名	21日 5名	16日 5名	16日 5名	12日 5名	18日 5名	18日 5名	24日 5名	25日 9名

事故防止委員会	20日 8名	7日 12名	29日 5名	31日 5名	31日 5名	28日 5名	26日 5名	24日 5名	21日 5名	25日 5名	22日 5名	29日 5名
週会議	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名	毎週月 5名

-2 出席した施設外会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長会議 ／法人本部	8日 古賀	13日 古賀	3日 古賀	8日 古賀	5日 古賀	2日 古賀	7日 古賀	11日 古賀	9日 古賀	6日 古賀	3日 古賀	3日 古賀
保健会議 ／法人本部		27日 古賀			25日 古賀			25日 古賀			10日 古賀	
食育会議 ／法人本部		27日 古賀 藤澤			25日 古賀 藤澤			25日 古賀 藤澤			10日 古賀 藤澤	
市内園長会議		19日 古賀									18日 古賀	

〈2〉 各種係を設置しスタッフ全員が参加して運営しました

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	日常の衛生管理、新型コロナウイルス感染拡大防止消毒作業の確認、衛生用品の補充
安全対策係	事故防止委員会の開催による事故防止報告書、ヒヤリハット、インシデントからみられる再発防止の話し合い
防火管理者	防火設備点検、避難訓練の実施
食品衛生管理係	食品の衛生管理、保存食の確認、衛生点検の実施、調理室の衛生を保持に努めた
畑係	畑仕事のスケジュール管理、畑の管理。係が中心にできなかったが保育の中で管理、種まき、収穫を実施
生き物係	係が中心に実施できなかったが職員や子どもが実施

〈3〉 対外的に以下の係を設置し活動しました

係名	活動の様子・省察
市制50周年係	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地域担当	地域交流は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、青空保育において交流に努めた

6 保育・処遇

〈1〉 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援 および意見要望への対応

<p>保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 異年齢保育が定着し室内活動、戸外活動においても、子どもの発達の合わせた活動場所を考え、年齢で分けず子どもの姿に合わせた活動を行った ● コロナ禍であっても子どもに必要な体験を工夫して行った。他園ではできない活動も公園を利用し、焚火体験や土手に多く出かけることで自然の変化に気づく機会を作った。新たな発見が子どもたちの興味、関心を広げることができ、自ら調べてみる経験につなげた。 ● 運動会は未実施となったが、生活発表会で運動面の発表につなげた。子どもたちは遊びを楽しむだけでなく目標をもつことで鉄棒や縄跳び、跳び箱など一生懸命取り組む様子が見られ、挑戦し達成する経験を重ねていた。 ● 表現活動を計画的に行い、発達の確認や思考を広げる力を養った。作品展において、日々の作品を貯め置き、成長を伝える機会となった。 ● 上期は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休園があり、乳児は集団生活の中での育つ経験が少なく戸外での這う、歩く、探索する機会が十分に持てなかったが、上期になり幼児と共に行動することで経験を重ねることができた。5歳児においては城山公園の徒歩遠足に自信をもって歩き切ることができ3、4歳児も距離を伸ばしていく目標がさらに深まった。 ● 畑で収穫した野菜を利用し、保存食を作ることを多に行い食品になるまでの待つことで、畑仕事の達成感をあげた。（紫蘇を使って梅干し作り、たくあん作り） ● ケチャップ作り、味噌作り、豆腐作り、うどん作りなど素材から他のものへの変化を楽しみ、素材の味を十分に感じられる収穫物で、旬の味を楽しむこともできた。
<p>保育参加</p>	<p>4～3月まで 合計3名が参加済み (3月1日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍において参加率をあげることはできなかったが、今後も保護者との信頼関係を深め、園の様子を伝える機会として保育参加人数を増やしていきたい。
<p>保護者面談 および発達 相談</p>	<p>4～3月まで 合計2名が実施済み (3月1日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5歳児2名の希望があり実施。就学に向けた今後の関わり方について相談があった。 ● 園の様子を伝え、家庭との連携をはかることで、子育てにつなげる機会としていきたい ● 園からスキップへの相談件数3件。今後の保育に活かしていける助言を頂いた。
<p>園児の保護 者への支援 および意見 要望への対 応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭の状況、保護者の状況を把握し、必要と思われる支援を行った。 ● コロナ禍における感染防止対策に不安の声を頂いたが、職員の感染防止対策の徹底を伝えた。 ● 危機管理に対する不安のご意見を頂き、日々の業務の見直しを職員間で話し合い信頼を取り戻す行動をしていく。「安全、信頼、保育の質」を高めていく行動を確認した。
<p>運営委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営委員会を11月26日にメリー★ポピンズ志木駅前保育室にて実施し、参加した保護者2名。詳細は議事録に記載。

〈2〉 計画した年間行事の振り返り

- 別紙「2020年度年間計画表」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営状況

- テラス給食、当番による配膳活動（コロナ禍のためバイキングは中止）
- 戸外活動が活発に行われ、「食欲のある子は意欲のある子」の目標を達成し、ほぼ残食なく給食を楽しんでいた。
- 素材を知り変化する食育活動を多く取り入れた。（小麦➡うどん、だいず➡味噌、豆腐 大根➡切り干し大根、たくあん等）
- 乳児も自分で選ぶ、自分で食べたいを大切に、まずはどれから食べたいを選べる提供を行った。
- 焼き芋体験を通し、火に関わり、火の大切さと危険性を伝える機会とした。

〈4〉 保健に関する実施結果

園児健康診断	9月26日／11月4日に実施
歯科検診	10月29日に保育園にて実施
保健だより	毎月25日に児童数にて配布
スタッフ健康診断	近隣保育園、指定医療機関にて実施（8月～10月）
スタッフ検便	毎月5日投函
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 5月 うがい、手洗い指導を実施 ② 10月26日に歯磨き指導を実施 ③ 12月21日に保育にて性教育を実施
流行した感染症	流行した感染症なし
発作・痙攣等の対応	なし
エピペン使用できるスタッフの状況	3月25日に保育園にて緊急対応研修としてスタッフ名8名参加。全スタッフ13名のうち、スタッフ8名が習得済み。
AED使用できるスタッフの状況（AED設置施設のみ）	設置なし スタッフ8名は普通救命講習会または上級救命講習受講
その他保健に関する取組	食育ボードによる体に必要な栄養指導 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行った。また消毒・換気を徹底した。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	5・7・9・11・1・3月の25日に計6回実施済み
	事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	11月に実施済み
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日0日

	衛生管理点検表／毎月	毎月 25 日に計 12 回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0 日
	検便・細菌検査結果通知書の状況	4月 在籍スタッフ 12 名中 結果有 12 名／結果無 0 名
		5月 在籍スタッフ 12 名中 結果有 12 名／結果無 0 名
		6月 在籍スタッフ 12 名中 結果有 12 名／結果無 0 名
		7月 在籍スタッフ 12 名中 結果有 12 名／結果無 0 名
		8月 在籍スタッフ 12 名中 結果有 12 名／結果無 0 名
		9月 在籍スタッフ 12 名中 結果有 12 名／結果無 0 名
		10月 在籍スタッフ 13 名中 結果有 13 名／結果無 0 名
		11月 在籍スタッフ 13 名中 結果有 13 名／結果無 0 名
		12月 在籍スタッフ 14 名中 結果有 14 名／結果無 0 名
		1月 在籍スタッフ 13 名中 結果有 13 名／結果無 0 名
		2月 在籍スタッフ 13 名中 結果有 13 名／結果無 0 名
		3月 在籍スタッフ 13 名中 結果有 13 名／結果無 0 名
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年 2 回／4・10 月 ⇒ 4 月 15 日、9 月 30 日に実施済み
	身長体重測定	毎月 1 回／20 日 実施済み
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年 1 回	年 2 回／6・11 月 ⇒ 9 月 26 日、11 月 4 日に実施済み（東京都 0 歳児のみ年 12 回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年 2 回／4・10 月の園会議時 ⇒ 4 月 17 日、10 月 16 日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月 1 回／園会議冒頭 5 分間 実施済み
	利用者アンケート調査	9 月 5 日に実施済み

〈6〉 実施した環境整備の状況

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テーブルの配置や消毒作業をこまめに行い、プール遊びも密にならない環境設定をし、水遊びを十分に楽しんだ。
- ・長椅子を製作し、テラスでの活動を広げられるようにした。
- ・園舎前のプランターやテラスの環境を見直し、緑がある環境を心がけた。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- 水辺のリスクマネジメント研修の参加
- プール活動における事故防止研修実施
- 事故防止委員会の実施によるヒヤリハット、インシデント、事故再発防止策の検討
- 感染症、防犯、光化学スモッグの情報を自治体と共有し安全の確保、感染対策にあたった

8 実習生・中高生の受入

① 実習

日程	学校名	人数	担当保育士	内容
該当なし				

② 職場体験

日程	学校名	人数	担当保育士	内容
該当なし				

9 スタッフ研修

① 園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー 研修自己採点	20日 12名	7日 12名	19日 12名	17日 12名	21日 12名	18日 12名	15日 12名	12日 12名	18日 12名	14日 12名	19日 12名	7日 12名
保育運営研修	20日 9名	7日 9名	27日 9名	17日 8名	28日 8名	25日 7名	30日 6名	12日 7名	18日 7名	14日 6名	7日 12名	7日 12名

園内研修は、エピソード記録を作成し習慣化することで、子どもを見る視点を見直すきっかけとなり、保育の質をあげる会議とリンクして職員全体で学び合う機会となった

② 外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
2/12.19.26	保育士会	働きやすい職場作り研修	1名	有
6/1~1/31	子ども文化学校	おはなしとわらべ歌教室	1名	有

③ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育スキル講座		24日 6名	17日 8名		4日 4名			21日 2名	14日 6名	15日 4名	26日 4名	
業務改善研修（保 育の質会議）	22日 1名	27日 1名	17日 1名	29日 1名	19日 1名	16日 1名	21日 1名	25日 1名	23日 1名	20日 1名	24日 1名	17日 1名
全社員研修	第1回：12月25日にWEBにて園内で開催し、14名のスタッフが出席											
リーダー養成研修	該当なし											
デモンstrationセッション	該当なし											

10 地域交流

地域の子育て支援をはじめ、保育園が地域の資源として活用できる居場所を目指している。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主だった活動は出来なかったが、戸外で活動できる青空保育をもっと地域に広げていきたい。

実施した地域交流

青空保育（保育園主催）	月1回	公園名：直路交通公園にて
商店街ツアー	週1回	主な行き先：高澤歯科、歯の家、図書館、交番、スーパーカスミ、美松や、アリスブンカ、清水商店、ブルームーン等
世代間交流	11月22日に四季彩公園にて勤労感謝会を実施	
異年齢交流	感染防止対策のため未実施	
銭湯でお風呂の日	月1回	〈3～5歳児〉 感染防止対策のため未実施

11 小学校との子ども間交流・職員間交流

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、直接的な子ども間交流は出来なかったが、畑仕事の際に校内の様子や小学生の様子を見る機会が多く、意識して小学校生活を伝えていった。また、小学校の様子を伝え持ち物や給食の様子などを伝えていった。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動名（会場）	内容
6月～3月	志木小学校	各22名	畑活動による校内見学	子ども間交流
2月～3月	各小学校	1名	就学に向けた引継ぎ	職員間交流

12 要支援児

【個別支援計画の作成・見直しの状況】

該当者なし

【毎月のケース会議開催の状況】4~3月に計12回開催 参加者：5名

要支援児の該当者はないが子どもの育ちの共有として会議を実施

【進級引継、および、小学校への引継状況】

該当者なし

13 子育て支援事業

2020年度自然食堂・ちきんえっぐイベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
-名	-名	-名	-名	0名	0名	2名	4名	0名	0名	18名	2名	26名

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計2件相談実施済み
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施
ちきんえっぐだより	毎月1日発行

14 福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

15 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。このうち、第三者委員へ報告すべきものは0件。
- 今年度、外部窓口となっている「第三者委員計4名」へ寄せられた苦情は0件。

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上